

第1回 国道229号乙部町館浦地区斜面对策技術検討会

議事概要

■ 第1回検討会：令和3年6月23日（水）14時30分～16時15分

【議題】

- ・ 調査結果に基づく現状の評価、追加調査の必要性等について
- ・ 応急対策工（案）について

【議事概要】

○事務局より被災概要、被災箇所の地形地質概要、現地調査結果速報、過去の被災および対策工について説明し、委員より以下のとおりご助言をいただいた。

- ・ 当該斜面には軟らかい地層が分布し、亀裂が多く発達しているため、亀裂の組み合わせに着目した確認を行い、斜面の安定性を評価する必要がある。
- ・ また、風化の進展により、同様な崩壊を繰り返す連鎖的な崩壊が進む可能性が高い。
- ・ 空撮にて懸念された亀裂のうち、土砂が確認された部分については、岩盤が風化しているものなのか、土砂堆積物により亀裂を埋めているものなのか、成因を区別する。鉱物の違いなど構成材料を確認するとよい。
- ・ 亀裂内を水が通っていると風化しやすく、崩壊履歴が融雪期に集中していることから、水が誘因の一つである事が推定される。開口亀裂と湧水の位置関係を整理することが必要である。

○事務局より応急対策工（案）について説明し、委員より以下のとおりご助言いただいた。

- ・ 応急対策工については、追加調査等による結果を踏まえ、崩壊メカニズム等を慎重に分析した上で妥当性を判断すべきである。
- ・ 大規模な落石を想定するだけでなく、今回の崩壊形態を踏まえ崩落土砂全体が対策工に及ぼす影響をより慎重に評価すべきである。